



2017年11月7日

熱気球「まもるくん号」が2017佐賀バルーンフェスタに出場

ビーバー・バルーン・クラブ結成25周年に花を添える！

共栄火災海上保険株式会社(本社:東京都港区新橋 1-18-6、社長:助川龍二)は、「ビーバー・バルーン・クラブ」(所在地:佐賀県佐賀市、会長:鶴崎伸一氏/当社佐賀支社代理店店主)と合同で、「2017佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」(会場:佐賀市嘉瀬川河川敷、開催期間:11月1日~11月5日)に出場しました。

大会では、熱気球「まもるくん号」がフェスタ部門に出場し、「ビーバー・バルーン・クラブ」のスタッフ約20名が参加者や見学者をはじめ地域の方々との交流をはかりました。

熱気球「まもるくん号」は、当社が1992年の創立50周年を記念して製作、球皮には当社の主力保険商品「まもるくん(建物更新総合保険)」のキャラクタービーバーがデザインされています。運営は「ビーバー・バルーン・クラブ」に委託し、主に西日本地区を中心に施設※への慰問、競技大会への出場など、積極的な活動を展開しています。ビーバー・バルーン・クラブは、今年結成25周年を迎え、この25年間で訪問した施設の数約400か所に上ります。



25年間クラブを支えてきた鶴崎会長は、「多くの方々に支えられてビーバー・バルーン・クラブの活動を25年間も続けることができました。結成25周年で迎えた本大会もビーバー・バルーン・クラブのクルーをはじめ関係者の方々のご支援のお陰で無事に終えることができました。今後も出来る限り熱気球で子どもたちに夢を届ける活動を続けて行きたいと思います。」とコメントしました。

当社では、今後も各種イベント活動等を通じ、地域や社会との交流を積極的にはかってきます。

※ 全国の児童養護施設、養護学校、肢体不自由児施設、児童自立支援施設(旧教護院)、老人ホームなど各種福祉施設へ慰問を行っています。

【2017佐賀インターナショナルバルーンフェスタの概要】

会場	佐賀市嘉瀬川河川敷
開催期間	2017年11月1日(水)~11月5日(日)
主催	佐賀バルーンフェスタ組織委員会

ビーバー・バルーンクラブについて

きっかけは、障害者の方の「鳥のように自由に空を飛びたい。風のように走りたい」という言葉でした。1992年4月に誕生したビーバー・バルーンクラブは、養護施設や肢体不自由児施設の子供たちを中心に「大空を駆けめぐる」感動を味わってもらおうと、熱気球搭乗体験イベントを実施しています。この活動に当社が熱気球を提供するとともに運営をサポートしています。

9月には日韓の児童養護施設が合同で実施する第23回日韓青少年交流キャンプを激励訪問し、児童養護施設の子供たちに空中体験をプレゼントしました。

クラブの活動は、メンバーの自発的な意志を尊重しており、各自仕事を持ちながらボランティアとして実施しています。

